



〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263)53-8802

FAX (0263)51-1290

E-mail: sogokyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp

目次

教職員研修会サポートについて	p.1,2
今年度の研修講座の様子（教科教育部・企画調査部）	p.3
クリアチャレンジ問題について	p.4

校内教職員みんなで学びあう

教職員研修会サポート



「教職員研修会サポート」の手順

☆研修講座の受講前でも受講後でも申込みをすることができます！

STEP1 日程調整

○教頭先生より、企画調査部へお電話いただき、日時について担当主事と打合せをします。

STEP2 申請書送付

○教職員研修会サポート申請書を作成し、企画調査部へメール送付します。

STEP3 研修会準備

○担当主事と連絡を取り合い、研修会の運営や内容等について打合わせします。

STEP4 研修会当日

○受講者が講師となり、研修会を行います。
【※必要に応じて担当主事がサポートします。】

STEP5 研修会后

○研修会を振り返り、アンケート用紙を企画調査部にメール送付します。

☆申込み、お問い合わせはこちら

【担当】長野県総合教育センター企画調査部

電 話 0263-53-8802

電子メール sogokyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp

☆申請書等は

長野県総合教育センターホームページ
(トップページ→学校支援)

からダウンロード

教職員研修会サポート対象講座

実施済み講座

構内研修でぜひご活用を!!

教科・領域・分野	対象校種	講座名	講座番号	講座日	対応する願い(キャッチコピー)
学校組織マネジメント	小中高特	学校組織マネジメント 応用Ⅲ ～ICT活用と学校マネジメント～	3-2-08-43	6月30日(金)	職員みんなで、学年みんなでできることから始めるICTの効果的な活用について学びたい!
カリキュラム・マネジメント	幼小中高特専	カリキュラム・マネジメント 応用	3-2-09-41	6月2日(金)	カリキュラム・マネジメントの理論や実践について、講義・演習を通して学びます。
I C T 活用	小中高特	クラウド 活用A	3-1-17-61	5月29日(月)	クラウドを活用した教材作成を通じて、ICTを活用した授業づくりについての校内研修を実施したい!
I C T 活用	小中高特	クラウド 活用B	3-1-17-62	5月30日(火)	クラウドを活用した教材作成を通じて、ICTを活用した授業づくりについての校内研修を実施したい!
I C T 活用	小中高特	クラウド 活用C	3-1-17-63	6月1日(水)	クラウドを活用した教材作成を通じて、ICTを活用した授業づくりについての校内研修を実施したい!
I C T 活用	小中高特	クラウド 活用D	3-1-17-64	6月2日(木)	クラウドを活用した教材作成を通じて、ICTを活用した授業づくりについての校内研修を実施したい!
プログラミング教育	小中特	プログラミング教育 基本Ⅱ ～興味を引き出しプログラミング的思考を育む～	3-1-17-22	6月30日(金)	プログラミングの教材(Keyタッチ)も貸し出します! 学校みんなで体験することからはじめてみよう!!
道徳	小中特	小学校・中学校道徳 基本Ⅱ ～考え、議論する道徳の授業づくり～	3-1-11-23	6月19日(月)	「発表して終わり」からの脱却! 中心発問と補助発問を考えてみよう!
特別支援教育	小中	スタート! 特別支援教育 基本 I A ～小学校、中学校の特別支援学級の基礎～	3-6-01-21	6月13日(火)	特別支援学級の児童生徒の指導・支援や授業づくりについて考え合いたい
特別支援教育	小中	スタート! 特別支援教育 基本 I B ～小学校、中学校の特別支援学級の基礎～	3-6-01-22	6月27日(火)	特別支援学級の児童生徒の指導・支援や授業づくりについて考え合いたい

今後実施される講座

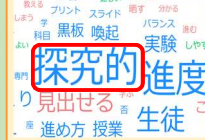
教科・領域・分野	対象校種	講座名	講座番号	講座日	対応する願い(キャッチコピー)
総合的な学習の時間	小中特	総合的な学習の時間 基本 ～探究的な学習につながる授業づくり～	3-1-15-21	9月11日(月)	探究的な学習につながる授業や単元づくりについて理解を深め実践につなげたい。
総合的な探究の時間	高特	総合的な探究の時間 基本 ～「探究したい!」と思える授業づくり～	3-1-15-24	8月7日(月)	生徒が本気で取り組む総合的な探究の時間にするための具体の方法を学びたい
プログラミング教育	小中特	プログラミング教育 基本Ⅰ ～プログラミング教育の本質的な価値と背景～	3-1-17-21	7月31日(月)	プログラミングの教材(Keyタッチ)も貸し出します! 学校みんなで体験することからはじめてみよう!!
特別支援教育	小中	特別支援教育 基本Ⅰ ～個別の指導計画の作成と活用～	3-6-01-24	9月1日(金)	個別の指導計画の作成の意義やポイントについて学び、実践につなげたい
特別支援教育	小中	特別支援教育 基本Ⅱ ～特別支援学級の自立活動の基本～	3-6-01-25	10月3日(火)	特別支援学級の児童生徒の自立活動について理解を深め、実践につなげたい
特別支援教育	幼小	クラスの中の気になる子の支援 基本Ⅰ ～小学校 通常の学級～	3-6-02-21	8月24日(木)	通常の学級に在籍する支援を必要とする子どもの理解と指導・支援に生かしたい
特別支援教育	中	クラスの中の気になる子の支援 基本Ⅱ ～中学校 通常の学級～	3-6-02-22	10月6日(金)	通常の学級に在籍する支援を必要とする子どもの理解と指導・支援に生かしたい
生徒指導	小中高特	児童生徒理解と課題への対応 基本Ⅱ ～不登校の子どもへの理解と支援～	3-5-02-22	10月12日(木)	子どもの発達課題を踏まえ、不登校の子供や保護者にどんな言葉がけや関わり方をすればよいか、全職員で学びたい!
生徒指導	小中特	児童生徒理解と課題への対応 基本Ⅲ ～子どもに寄り添う理解と支援～	3-5-02-23	10月13日(金)	子どもの発達課題を踏まえ、人間関係や学級づくりに生かせる子どもと一緒に「SST」を全職員で学びたい!
生徒指導	小中高特	連携・危機対応 応用 ～保護者対応の具体を学ぶ～	3-5-02-41	7月27日(木)	保護者と連携・協働できる関係を築くための具体の方法を学びたい!
I C T 活用	小中高特	ICT活用 応用 ～ICT活用を推進して業務改善を図る～	3-3-02-41	10月6日(金)	ともに学び、計画的に進めよう! 校内のICT活用を全職員で推進して業務改善を図りたい
I C T 活用	小中高特	ICTを活用した校務の効率化 基礎 ～出欠確認システムのDX化～	3-3-03-61	8月4日(金)	Google Workspace for Educationを使って、I C T 端末の効果的な活用について理解を深め、実践につなげたい

この講座では、日々の実践を基に、受講者同士で語り合いながら、探究の過程を通して学ぶとはどのようなことか、評価はどのようにしたらよいのか理解を深めました。午後には、探究の過程を重視した授業づくりを行い、自らの授業改善に向けて考えました。

受講者同士で思い・願いの共有



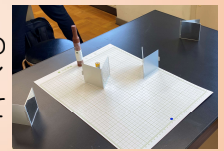
受講者全員が初任者。授業での悩みや不安を入力後に関共有しました。



- ・探究的な授業にするための悩みが高く、似たようなところに悩んでいる受講者が多いようです。
- ・授業づくりで大切にしているポイントを出し合いました。

探究の過程を通じた学習活動のポイントをつかむ

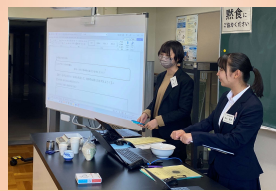
実際に実験を行い、生徒と教師の双方の視点で、探究の過程を通じた学習活動のポイントと、授業の工夫について考え合いました。



受講者のふりかえりから

今回の講座を受講し、授業づくりのポイントが理解できました。明日からの授業では、生徒の視点を大切に、生徒の資質・能力の育成につながるような授業を少しずつ考えていきたいです。

模擬授業と意見交換



探究の過程を重視した授業づくり



生徒目線で、生徒が発する言葉や行動を観察し、生徒なりの「見方・考え方」を丁寧に教師が捉えることが、探究の過程において必要な資質・能力の育成につながることを実感。

講座担当者の感想 ポイントを理解され、帰校後、授業改善にチャレンジしようとする先生方がうかがえました。授業改善の様子をお知らせいただければ幸いです。

※「指導と評価の一体化」にある事例を用いて、1時間の授業展開、評価方法について考えました。

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 理科】

信州大学教職大学院連携講座

「教師の教育観と授業」～省察的实践を通じた教師の更新～

6月6日（月）実施

受講者のふりかえりから

講師：信州大学教職大学院教授 畔上 一康 先生

子どもと共に在りたいと願いながらも、やはり私の声が子どもたちにとっての絶対であり、先生の顔色に付き合わせてしまっている状況があります。子どもたちと私は対等で在ったのかどうか…今もそのことをずっとずっと考えてしまいます。

自分らしく、自分の言葉で語れる学級を作れていただろうか…。そして、自分自身も自分らしく、自分の言葉で子どもたちと会話できていただろうか。

「先生、これでいいの?」とよく確認される。そういう授業をしている自分がいることを日々痛感している。「受け身」の子どもたちを感じる。そのやりやすさにあぐらかいて、こなすだけの自分になっていたことを強く感じる。

一見、無駄そうに見えるもの、無駄に感じる時間こそが、その子にとって大切であると改めて感じます。

講師の畔上先生が、最後にこんなことを話されました。「**子供が語ることはすべて正解**」目の前にいるその子の「言葉」を、その子の「行動」を、その子のすべてを意味づけながら、その子の根っこにある思いに気付いてあげられる、そんな教師でありたい。そんなことを感じた時間でした。

「クリア・チャレンジ問題」を活用してみませんか？

今回は「クリア・チャレンジ問題」の授業中や教材研究での活用方法の一例を、理科の問題でご紹介します。

☆単元のはじめとおわりで「クリア問題」を活用☆

3年生で勉強したことを
思い出してみよう！

単元のはじめ



この単元で勉強したことを
確認してみよう！

単元のおわり

Clear

小学校5年 理科

クリア問題 6

3 磁石の性質について、次の問題に答えましょう。

- (1) 磁石のN極に近づけると、引き合う極は何極ですか。
- (2) 磁石のN極に近づけると、しりぞけ合う極は何極ですか。
- (3) 磁石が自由に動けるようにしたとき、北をさす極は何極ですか。

★「クリア問題」は、知識や技能の定着を確認する問題を多く掲載しています。既習内容の復習としても活用できます。

関連のあるものをセットで使ってみては、いかがでしょうか。

Clear

小学校5年 理科

クリア問題 12 (月 日)

名 前

1 電じ石を作りました。次の問いに答えましょう。

(1) 右の図で、くぎがたくさんつく場所に○をつけましょう。



(2) 電じ石に方位じしんを近づけると、Aを指していたはり（針）がBを指しました。

① 右の図の○はS極ですか。N極ですか。

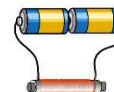


かい答

② かん電池のプラスとマイナスを入れかえると、方位じしんのはり（針）はA～Dのどの方向を指しますか。

かい答

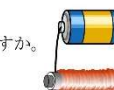
(3) かん電池を2本直列につなぎました。電じ石につくくぎの本数は(1)の時とくらべて、どうなりますか。



かい答

(4) 電じ石のコイルに巻くエナメル線の巻き数を増やしました。

電じ石につくくぎの本数は(1)の時とくらべて、どうなりますか。



かい答

☆教材研究で「チャレンジ問題」を活用☆

★「チャレンジ問題」には、右のような教科書に載っていない実験や問題が掲載されています。「チャレンジ問題」から、素材や発問などのヒントを得ることができそうです。

教材研究の際に、ぜひ参考にしてみてください。

気圧の低い上空では、
空気にどのような変化が
起こるのかな？

膨張するかな？
収縮するかな？



中学校2年「チャレンジ問題3」より

理香さんは、大型注射器、丸底フラスコ、温度センサー、圧力センサー、コンピュータを用いて、図1のような気温と気圧の変化を調べるモデル実験装置を作りました。フラスコ内に水を少量入れてよく振り、注射器のピストンを引いて、フラスコ内の変化を観察しました。

図1

